

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2024年5月13日
【四半期会計期間】	第20期第1四半期（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）
【会社名】	株式会社セレス
【英訳名】	C E R E S I N C .
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 都木 聡
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町1番1号
【電話番号】	03-6455-3756
【事務連絡者氏名】	常務取締役 兼 管理本部長 小林 保裕
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町1番1号
【電話番号】	03-6455-3756
【事務連絡者氏名】	常務取締役 兼 管理本部長 小林 保裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第1四半期 連結累計期間	第20期 第1四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 2023年1月1日 至 2023年3月31日	自 2024年1月1日 至 2024年3月31日	自 2023年1月1日 至 2023年12月31日
売上高 (千円)	5,525,486	6,718,358	24,070,608
経常利益 (千円)	352,078	1,140,713	1,217,970
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	201,158	832,378	451,148
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	265,829	899,983	536,140
純資産額 (千円)	9,734,143	11,307,502	10,045,828
総資産額 (千円)	22,418,601	27,911,106	25,915,085
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	17.67	72.93	39.57
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	39.6	35.1	35.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、Apolo Capital 1号投資事業有限責任組合を設立したため、新たに連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善や設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化、資源価格の高騰、円安による物価の上昇等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間においては、売上面ではモバイルサービス事業において、当社グループが運営するポイントサイトであるモッピーが会員数の増加等により引き続き好調に推移いたしました。また、化粧品・ヘルスケア商品等を取り扱っているD2Cは前期からのヒット商品の牽引により大幅増収となりました。取引先企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）支援を行う連結子会社ゆめみは大口案件の端境期に入っている影響等により、減収となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、ブロックチェーン関連事業を行う連結子会社マーキュリーやオンラインファクタリングサービスを提供している連結子会社ラポルの順調な成長に加えて、投資育成事業において営業投資有価証券の売却を行ったことにより大幅増収となりました。

利益面では、DXでの減益があったものの、モッピーにおける粗利率改善やD2Cでの販売好調により、モバイルサービス事業において大幅増益となりました。また、フィナンシャルサービス事業においては、各事業が好調に推移したことによる増収により、損失幅が縮小しております。また、持分法適用関連会社であるビットバンクは暗号資産価格の上昇に加え、暗号資産市場の活況により好業績となり、持分法による投資利益が前年同期比で大きく増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,718百万円（前年同期比21.6%増）、営業利益は713百万円（同181.2%増）、経常利益は1,140百万円（同224.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は832百万円（同313.8%増）となりました。

また、当社グループの経営指標として重視しているEBITDAは1,255百万円（前年同期比159.7%増）となりました。当社グループのEBITDAは税金等調整前当期純利益＋支払利息－減価償却費＋のれん償却費（持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算）＋減損損失で算出しております。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

モバイルサービス事業

モバイルサービス事業は、日本最大級のポイントサイトであるモッピーや自社アフィリエイトプログラムAD.TRACK等から構成される「ポイント」、化粧品・健康食品等の企画・製造・販売を行う「D2C」、及び連結子会社ゆめみを手掛ける企業のDX化支援サービス「DX」で構成されております。

「ポイント」においては、引き続きサイトやアプリの継続的な改良等を行うとともに、各種キャンペーン等の施策を実施してまいりました。また、AD.TRACKとの連携を進めたことにより利益率も改善しており、増収増益となりました。なお、モッピーの会員数は堅調に推移し、当第1四半期連結会計期間末の会員数は526万人（前年同期比15.6%増）となり、アプリの累計ダウンロード数も468万件（同45.8%増）に達しております。

「D2C」においては、機能性インソール「ピットソール」の販売好調の継続に加えて、定期販売商品も好調に推移しており増収増益となりました。

「DX」においては、大口案件の端境期による稼働率低下に加えて、前年からの人材投資に伴う人件費増により減収減益となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるモバイルサービス事業の売上高は6,275百万円（前年同期比18.1%増）、セグメント利益は1,119百万円（同63.1%増）となりました。

フィナンシャルサービス事業

フィナンシャルサービス事業は、ブロックチェーン関連、オンラインファクタリングサービス、投資リターンを得ることを目的とした投資育成事業を行っております。

ブロックチェーン関連事業においては、マーキュリーが運営するステーキングサービス「CoinTradeStake（コイントレードステーク）」が順調に推移し、暗号資産価格の上昇の影響もあり、損失幅が縮小いたしました。

た。また、オンラインファクタリングサービスにおいては、フリーランス向けAIファクタリングサービス「labol（ラボル）」や、カード決済サービス「labol（ラボル）カード払い」が好調に推移いたしました。さらに投資育成事業では、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合を新たに設立し、営業投資有価証券の売却を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるフィナンシャルサービス事業の売上高は447百万円（前年同期比104.8%増）、セグメント損失は54百万円（前年同期はセグメント損失137百万円）となりました。

財政状態の分析

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,996百万円増加し、27,911百万円となりました。これは主に現金及び預金が683百万円、有形固定資産が322百万円、関係会社株式が374百万円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における総負債の額は、前連結会計年度末に比べ734百万円増加し、16,603百万円となりました。これは主に買掛金が262百万円、短期借入金が221百万円、資産除去債務が115百万円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の額は、前連結会計年度末に比べ1,261百万円増加し、11,307百万円となりました。これは主に利益剰余金が604百万円、非支配株主持分が635百万円増加したこと等によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題についての重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2024年3月31日)	提出日現在発行数 (株) (2024年5月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,984,500	12,057,500	東京証券取引所 プライム市場	単元株式数は100株で あります。
計	11,984,500	12,057,500	-	-

(注)1. 新株予約権の行使により提出日現在の発行済株式総数が73,000株増加しております。

2. 提出日現在の発行数には、2024年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2024年1月1日~ 2024年3月31日	-	11,984,500	-	2,046,390	-	1,986,390

(注)2024年4月1日から2024年4月30日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が73,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ56,721千円増加しております。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2024年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 571,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,400,500	114,005	単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 12,800	-	-
発行済株式総数	11,984,500	-	-
総株主の議決権	-	114,005	-

【自己株式等】

2024年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社セレス	東京都渋谷区桜丘町1 番1号	571,200	-	571,200	4.77
計	-	571,200	-	571,200	4.77

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,112,206	8,795,965
受取手形、売掛金及び契約資産	3,643,349	3,318,226
営業投資有価証券	2,976,200	2,985,114
商品及び製品	384,326	545,031
仕掛品	76,619	158,496
原材料及び貯蔵品	93,741	55,092
その他	2,339,178	3,095,808
貸倒引当金	38,658	58,490
流動資産合計	17,586,962	18,895,245
固定資産		
有形固定資産	361,668	684,292
無形固定資産		
のれん	1,537,615	1,486,209
その他	192,068	254,196
無形固定資産合計	1,729,683	1,740,405
投資その他の資産		
関係会社株式	3,194,221	3,568,642
その他	3,046,278	3,027,603
貸倒引当金	3,728	5,082
投資その他の資産合計	6,236,771	6,591,163
固定資産合計	8,328,123	9,015,861
資産合計	25,915,085	27,911,106
負債の部		
流動負債		
買掛金	783,868	1,046,191
短期借入金	3,413,000	3,634,000
1年内返済予定の長期借入金	1,635,478	1,702,518
未払法人税等	246,857	239,762
ポイント引当金	3,921,484	3,876,183
賞与引当金	-	15,260
役員賞与引当金	30,000	-
本社移転費用引当金	40,781	40,781
資産除去債務	88,100	88,100
その他	3,291,877	3,630,491
流動負債合計	13,451,447	14,273,288
固定負債		
長期借入金	2,314,085	2,146,123
資産除去債務	-	115,467
その他	103,724	68,724
固定負債合計	2,417,809	2,330,315
負債合計	15,869,257	16,603,603

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,046,390	2,046,390
資本剰余金	2,567,845	2,567,845
利益剰余金	4,719,572	5,323,685
自己株式	307,818	307,896
株主資本合計	9,025,991	9,630,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158,312	180,183
その他の包括利益累計額合計	158,312	180,183
新株予約権	1,266	1,266
非支配株主持分	860,258	1,496,027
純資産合計	10,045,828	11,307,502
負債純資産合計	25,915,085	27,911,106

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 2023年 1月 1日 至 2023年 3月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 2024年 1月 1日 至 2024年 3月31日)
売上高	5,525,486	6,718,358
売上原価	3,346,356	3,425,892
売上総利益	2,179,130	3,292,466
販売費及び一般管理費	1,925,522	2,579,229
営業利益	253,607	713,237
営業外収益		
受取利息	300	103
持分法による投資利益	109,525	370,844
投資事業組合運用益	-	56,984
その他	6,350	10,348
営業外収益合計	116,177	438,281
営業外費用		
支払利息	5,377	7,555
投資事業組合運用損	9,603	-
その他	2,724	3,249
営業外費用合計	17,706	10,804
経常利益	352,078	1,140,713
特別損失		
本社移転費用	-	11,703
特別損失合計	-	11,703
税金等調整前四半期純利益	352,078	1,129,010
法人税、住民税及び事業税	121,398	231,047
法人税等調整額	20,536	19,849
法人税等合計	100,862	250,897
四半期純利益	251,215	878,113
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,057	45,735
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,158	832,378

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	251,215	878,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,789	18,293
持分法適用会社に対する持分相当額	175	3,576
その他の包括利益合計	14,614	21,870
四半期包括利益	265,829	899,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,772	854,248
非支配株主に係る四半期包括利益	50,057	45,735

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行9行と当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を締結しております。なお、貸出コミットメント契約につきましては、一定の財務制限条項が付されております。

当第1四半期連結会計期間末における当座貸越契約及び貸出コミットメントに係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
当座貸越極度額及び貸出コミットメントの総額	4,850,000千円	5,450,000千円
借入実行残高	3,413,000千円	3,634,000千円
差引額	1,437,000千円	1,816,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
減価償却費	66,815千円	59,894千円
のれんの償却額	51,406千円	51,406千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年3月29日 定時株主総会	普通株式	227,776	20	2022年12月31日	2023年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年3月26日 定時株主総会	普通株式	228,265	20	2023年12月31日	2024年3月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,306,946	218,540	5,525,486	-	5,525,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,934	-	7,934	7,934	-
計	5,314,880	218,540	5,533,421	7,934	5,525,486
セグメント利益又は損失 ()	686,077	137,627	548,449	294,842	253,607

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 294,842千円は、セグメント間取引消去1,678千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 296,520千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	モバイル サービス事業	フィナンシャル サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,270,873	447,485	6,718,358	-	6,718,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,571	-	4,571	4,571	-
計	6,275,444	447,485	6,722,929	4,571	6,718,358
セグメント利益又は損失 ()	1,119,154	54,684	1,064,470	351,232	713,237

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額 351,232千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を主要な財またはサービス別に分解した情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	モバイルサービス事業	フィナンシャル サービス事業	合計
ポイント	3,457,617	-	3,457,617
D2C	645,542	-	645,542
DX	1,203,786	-	1,203,786
その他	-	38,472	38,472
顧客との契約から生じる 収益	5,306,946	38,472	5,345,418
その他の収益	-	180,068	180,068
外部顧客への売上高	5,306,946	218,540	5,525,486

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	モバイルサービス事業	フィナンシャル サービス事業	合計
ポイント	3,535,400	-	3,535,400
D2C	1,751,478	-	1,751,478
DX	983,994	-	983,994
その他	-	94,410	94,410
顧客との契約から生じる 収益	6,270,873	94,410	6,365,284
その他の収益	-	353,074	353,074
外部顧客への売上高	6,270,873	447,485	6,718,358

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり四半期純利益	17円67銭	72円93銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	201,158	832,378
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	201,158	832,378
普通株式の期中平均株式数(株)	11,385,204	11,413,251
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年5月13日

株式会社セレス
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 武井 雄次

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 高山 朋也

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社セレスの2024年1月1日から2024年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2024年1月1日から2024年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社セレス及び連結子会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 . 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。